

2022年2月号(第80号)

発行/企画 社協・編集会議

社会福祉法人 横浜市戸塚区社会福祉協議会
住 所：〒244-0003 戸塚区戸塚町 167-25
戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚
T E L：045-866-8434
F A X：045-862-5890
E-mail：info@totsukashakyo.com
http://totsukashakyo.com/

社協

とっか

社協の
事業紹介

戸塚区社協 あんしんセンター

私たちは、“高齢や障がい”により日常的な金銭管理に不安がある方の支援を行っています。
金銭管理の支援が必要な方は、当センターまでご相談ください。
※あんしんセンターとは、社会福祉協議会（社協）で行う日常生活自立支援事業の横浜市における愛称です。

① 利用対象の方

戸塚区内の高齢の方
や障がいのある成人
の方が対象です。

② 利用するには

まずは電話で相談し
て下さい。ご本人に
制度の説明をいたし
ます。

③ 支援の内容

ご本人に代わって生
活費を出納して、お
届けします。必要に
応じて一緒に郵便物
の確認を行います。

利用されている方（一部抜粋）をご紹介します

<要介護の高齢の方>

ケアマネジャーから紹介されまし
た。光熱費と家賃の口座引落の手續
きをしてもらったり、2ヶ月に1回
自宅に生活費を届けてもらったり
しています。足腰が悪いので大変
助かっています。



【問合せ先】 戸塚区社協 あんしんセンター TEL：045-869-3139

ご報告

共同募金運動ご協力のお礼



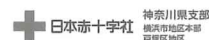
今年度も共同募金運動にご協力いただきありがとうございます。
昨年 10 月から 12 月までに行った赤い羽根共同募金運動で、
皆様からお寄せいただいた寄付金は、赤い羽根募金（一般募金）
16,522,369 円、年末たすけあい募金 3,132,716 円でした。（令和
3 年 12 月現在）

赤い羽根共同募金は子どもや高齢者、障がい者
を支援する地域福祉事業や福祉施設の施設整備、
災害被災者支援活動などに役立てられています。

多くの皆様からの温かいご支援に心より感謝い
たします。



日本赤十字社(日赤)会費 ご協力のお礼



今年度も日本赤十字社の会費（活動資金）にご協力い
ただきありがとうございます。

会費のお願いは例年5月以降に自治会町内会の皆様
のご協力を中心に行っており、令和3年度は12月末現
在、戸塚区内で12,813,638 円が集まってい
ます。

活動資金は区内の災害罹災者をはじめ、災害
救護事業や国際活動等に役立てられています。

来年度も5月より始まります。今後ともご
理解ご協力をお願いいたします。



社協からの
お知らせ

ご案内

令和3年度障害者週間シンポジウム

戸塚区社会福祉協議会では今年も12
月3日～9日の障害者週間に合わせて、
障害の理解啓発のために障害者週間シ
ンポジウムを実施しています。今年度は
動画を作成し、対面とオンラインの両
方を取り入れたハイブリット式で開催し
ました。シンポジウムの内容は
YouTube にて視聴ができますので是非ご
覧ください。（視聴期限：令和4年3月31日）

こちらから
アクセスできます



令和4年度戸塚区社協ふれあい助成金

申請書式・手引き等を3月より戸塚区社
会福祉協議会ホームページにて公開しま
す。

申請は4月8日（金）～4月22日（金）
必着で、郵送にて受け付けます。初め
ての申請を検討している団体は、事前
に戸塚区社会福祉協議会（電話：
045-866-8434 FAX：045-862-5890）
までご相談ください。

こちらから
アクセスできます



今号では、新型コロナウイルスに負けずに地域活動を推進する、戸塚区内4地区の取り組みを紹介します。

戸塚第一地区

【支え合い助け合い講座】

戸塚第一地区社会福祉協議会では、12月4日(土)に南戸塚地域ケアプラザにて、「支え合い助け合い講座」を実施しました。

今年度は地域の中でボランティア活動に興味がある方、自分で地区内にグループを立ち上げてみたい方など向けに、より実践的なグループワークを含めた講座を行いました。



講座当日は、戸塚第一地区のボランティア活動の現状や助成金制度などの説明から始まり、休憩を挟んだ後は参加者の方々とよりイメージをつけるためグループ立ち上げの為に企画書作成といった活動のシミュレーションまで行いました。



2グループに分かれて、具体的な話し合いまで行ったことにより、参加された方々がより今後の活動に対するイメージが湧きやすい講座内容となりました。

最後には、それぞれのグループから発表が行われて全員で共有しました。今後戸塚第一地区にて、何かボランティア活動をやってみよう! 地域の活動のお手伝いをしてみたいといった方も随時募集しております!



【おどりはふれあい午後のカフェ】

平成30年度より始まった「おどりはふれあい午後のカフェ」は、地域のコーヒー名人が淹れるサイフォン式コーヒーと手作りシフォンケーキが人気でしたが、昨年度より新型コロナウイルスの影響でコーヒーもケーキも提供が難しく、休止を余儀なくされてしまいました。「楽しみにしている方のために何かできないだろうか」と運営者で話し合った結果、12月は感染対策を十分に行った上で、ギターのミニコンサートを開催する形でカフェを再開させました。約30名の参加者がギターの優しい音色に癒され、思わずメロディーを口ずさむ方もいるほどでした。コロナ禍ではありますが、今までとは違ったカフェの魅力を感じた素敵なお時間となりました。1、2月は第6波で残念ながら中止しています。



取材者より 久しぶりのクラシックギターの音色と様々なジャンルのメロディはとても心地よく響き、自然に体も心も軽くなってハミングしていました。演奏者の想いにも触れることができました。

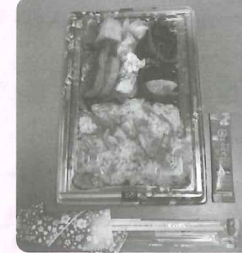
踊場地区

【踊場ふれあい昼食会】

踊場ふれあい昼食会も12月より「配食」という形態に変更して、再開しました。12~3月まで踊場地区内6か所で開催します。

当日は、お弁当をお渡しする前に、会館の中でちょっとした脳トレと簡単な体操を行い、久しぶりの顔合わせに皆さんの笑顔が見られました。

コロナの状況が悪くてもお弁当をお渡しすることだけは続けていきたいと思っています。

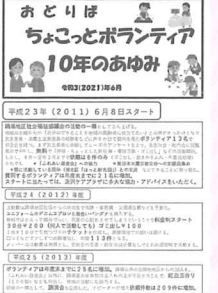


【おどりはちよこつとボランティア】

おどりはちよこつとボランティアでは、平成23年のスタート以来、地域の高齢の方などにちょっとしたお手伝いを続けています。令和3年でちょうど10周年を迎えました。

介護保険では対応しきれない家事雑用は多いものです。特に、庭仕事は男性の活躍があり好評ですが、メンバーの高齢化に伴い体力的にきつくなっています。極力活動時間を1時間半程度に抑えるため、1度の活動人数を5~8名に増やして協力し合って活動するようにしています。

ここ数年、発足当時から主要メンバーの転居、体調不良、そして急逝と、会にとつての痛手が続いていますが、仲間の力で一回り若い世代の新メンバーの加入もあり、活動は現在のところ維持していけそうです。



戸塚第三地区

【スポーツフェスティバル】

11月20日(土)晴天の空の下、特定非営利活動法人ぶらっと・戸塚第三地区連合町内会主催の第3回スポーツフェスティバルが谷矢部池(やとやべいけ)公園にて開催されました。谷矢部池公園は、踊場駅から徒歩5分程度の距離にある住宅地に囲まれた公園です。感染防止対策を講じ「おとなも子どももみんなでスポーツ! 外でカラダを動かそう!」のキャッチフレーズで、グラウンドゴルフ・わなげ・健康チェックなどが行われました。近年、人気種目のスラックラインは細いベルト状のラインの上でバランスを楽しむスポーツで、なかなかバランスが取り難く、何度もチャレンジしている姿も見受けられました。久々の外でのイベントに皆さんの笑顔があふれていました。



秋晴れのもと、谷矢部池公園の木々は色づき、それだけで心はウキウキしてきました。子ども達の歓声! あちこちに笑顔が! 集って活動することは、人々に活力を与えるという思いを新たにしました。



取材者より 秋晴れのもと、谷矢部池公園の木々は色づき、それだけで心はウキウキしてきました。子ども達の歓声! あちこちに笑顔が! 集って活動することは、人々に活力を与えるという思いを新たにしました。

【デュランタ(ゆるやかな見守り活動)】

戸塚第三地区では、ゆるやかな見守りを行う「デュランタ」という活動があります。平成27年10月から活動を始め、子どもから高齢者まで地域の中で気になる方の見守りや日常での声掛けを行い、必要に応じて、民生委員や地域ケアプラザ等につないでいます。また、広報紙「ごきげんよう」を年2回発行し、季節に応じた情報の提供を行っています。毎月1回の定例会のほか、年1回視察研修を行っています。令和3年度は、瀬谷区の瀬谷第四地区で行っている見守り活動について、お話を伺ってきました。そして、デュランタとしては、今後、活動の周知のため、オレンジの名札を付けて活動を行っていくと思っています。一緒に見守りをしてくれるメンバーも募集しています。



川上地区

【ふれあいサロン「ひまわり」】

川上地区社会福祉協議会では、若葉会(高齢者食事会)・ぶらんこ(子育てサロン)・リハビリサロン(障害のある方向けのサロン)・ふれあいサロン「ひまわり」(多世代サロン)等、地域の方向けの事業を実施しています。

今回は、感染者が少なくなっていた昨年11月に「ひまわり」にお邪魔しました。当日は、ボランティアの皆さんによる「ひまわりの歌」とダンスで始まり、クイズ形式のお手紙芝居(写真左下)や体操を行いました。以前は軽食をいただきながらおしゃべりを楽しんでいましたが、今回は、軽食をお持ち帰りいただくこととなりました。



参加された方からは「コロナ禍で家にいることが多く、足も弱くなった。今日はひまわりの歌で元気がなった!」「家にいると誰とも話さない日もある。今日は参加してよかった!」との声をいただきました。

「ひまわり」は昨年12月の恒例賞の根付け(写真右上)作りのあと感染急拡大で中止、他事業含め再度再開に向け準備を始めています。



取材者より 久しぶりに再開されたサロンでは、軽い体操に、とても楽しいゲームなどが企画・準備されていました。次回からはいつもの賑わいが戻ってくることでしょう。取材に参加させて頂き、ありがとうございました。

善意銀行（寄付の窓口） ～あなたの善意をお預かりします～

区民の皆様から善意の寄付（金銭や物品）をお預かりし、地域の福祉施設やボランティア団体（子ども食堂、地域サロン）などに配分し、地域の福祉活動を支援しています。ご寄付は、ぜひ本会までご連絡ください。

寄付者一覧 ご寄付ありがとうございました。

（順不同、敬称略、8/1～12/31）

ブリヂストン労働組合横浜支部、中島亘子（真島たまリフォーム教室あすなる）、戸塚ルーテル教会附属幼稚園、戸塚区少年野球連盟、六国建設株式会社、鈴木弥生、大石真由美、金原紀夫、匿名（2件）

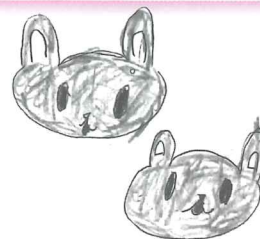
～寄付者へのありがとうメッセージ～

今回は、お米をありがとうございました。

特に、中学生と高校生は食べる事が大好きで、作った食事を良く食べてくれます。
なので、ホームにとってお米はとても有難いです。

（お米を受取ったファミリーホームより）

※ファミリーホームとは・・・様々な理由によって家族と一緒に生活できない子どもが地域の中で少しでも家庭に近い環境で暮らせるように考えられたものです。



賛助会員のご紹介 戸塚区社会福祉協議会へのご支援ご協力ありがとうございます。

（順不同・敬称略、4/1～12/31）

英語勉強サークル横浜、株式会社八雲堂、株式会社金子工業所、紘永工業株式会社、株式会社コウセイ、株式会社モンズ、株式会社大川印刷、大洋建設株式会社、株式会社エルマノ すばる中央薬局戸塚店、株式会社小野ファーム、かもめプロペラ株式会社、有限会社新興社、有限会社仁天堂薬局、匿名（2件）

連載

福祉人材シリーズ 戸塚の輝くひと

vol.16

一 汲沢地区の特徴を教えてください

まさかりが淵市民の森、宇田川遊歩道、農地、果樹園など自然と緑が多く、集合住宅のライオンズマンション戸塚第3自治会・東ハイツ自治会・西団地自治会、戸建住宅が多い汲沢町内会・大久保自治会・さつき町内会など約2000世帯を有する地区です。地区内にある桜陽高校建設地には縄文時代の遺跡（細田遺跡）があったことでも知られています。

一 地区社協の活動について教えてください

汲沢地区社協が主催する唯一のイベントは「敬老の集い」で満77歳以上の高齢者を対象にした事業です。区長を始め国会・県会・市会議員、近隣連合町内会会長・小・中学校校長、福祉施設長などを招き、祝辞を受けた後にアトラクションを楽しんで頂きます。アトラクションは開催年によって異なりますが歌謡、合唱、三味線・太鼓演奏、琴・尺八演奏、踊りなどから2団体に出演してもらうものです。他には連合こども会・連合理事会とのタイアップで市民の森・淵の上広場の花壇の花植え、民生委員児童委員協議会が行う「七夕まつり」、青少年指導員が行う夏・冬の工作教室の後援などです。「七夕まつり」と冬の工作教室は子ども達と高齢者との交流の場となっています。

一 これからの地区社協活動についてどのように考えていますか

高齢化社会にあって何をすべきかを常に念頭においた行動を求められているが、新型コロナウイルス禍にある新しい生活様式を見すえた活動の在り方を模索せねばと考えています。また、何をやるに当たっても連合町内会とのタイアップが重要とも考えています。

一 ひとこと

次なる担い手がいません。戦後ベビーブーム世代の人たちは一体どこに？現役で働いている方もいるのですが、周囲にはいません。



汲沢地区社会福祉協議会

本田 馨 会長